

2023 年度 玉成保育専門学校 自己評価

- 評価の方法  
教職員に対して、各評価項目を「専修学校における学校評価ガイドライン」を準じて 4 段階で評価するとともに評価の根拠についても記述するアンケートを実施し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とした。また、各領域の評価点は、領域内の各評価項目の評価点の平均値とした。
- 評価点  
4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	評価点	
1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8	3.7
2.学校の特色として挙げられるものはあるか	4	
3.学校の将来構想は策定されているか	3.8	
4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、教職員、生徒及び保護者に伝わっているか	3.3	

【課題】

昨年作成した学校の教育方針である 3 つのポリシーの生徒及び保護者への周知が課題

【今後の改善方策】

保護者にアルウィン祭や連弾発表会、クリスマス祝会に参加していただくだけでなく、その機会に本校の 3 つのポリシーについて説明の時間を設けるなど周知に努めたい。学生にも明示し、ディプロマポリシーを理解し、本校の卒業生として相応しい保育力を身に付けて欲しい。

2. 学校運営

評価項目	評価点	
1.目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.6	3.7
2.学校は事業計画に沿って運営されているか	3.8	
3.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.8	
4.教務の意思決定システムは整備されているか	3.6	
5.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5	

【課題】

ICT の活用、業務のさらなる効率化  
HP の更新

【今後の改善方策】

SNS や HP 活用して、郵便料金の値上げに対応し、郵便物を減らす。事務局とソフトを共有し、授業料の未納確認などタイムラグなく奨学金対応に活かしていきたい。  
HP の古い情報を定期的に刷新する。

3. 教育活動

評価項目	評価点	
1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3.8
2.教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6	
3.学科等のカリキュラムは目標達成に向け、体系的に編成されているか	3.8	
4.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	3.8	
5.授業をより良く改善するための授業評価を実施しているか	4	
6.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
7.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
8.職員の資質向上・指導力向上のための研修等が行われているか	3.3	
9.生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導が行われているか	3.8	

**【課題】**

授業や生活態度の心配な学生への、個別対応や少人数制授業の更なる検討が求められる。

**【今後の改善方策】**

個別対応または、少人数制の授業などを確保する。

## 4.教育成果

評価項目	評価点	
1.就職率の向上が図られているか	3.8	3.7
2.資格取得率の向上が図られているか	3.8	
3.退学率の低減が図られているか	3.3	
4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.8	

**【課題】**

コロナ禍でオンライン授業などを受けてきた影響がまだ残っており、遅刻、欠席が目立ち、ここ数年、数名の退学者が出ている。

**【今後の改善方策】**

欠席が続いたところで保護者へ早めに連絡する。

実習で躓かないよう個別指導をする。

## 5.学生支援

評価項目	評価点	
1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.5	3.5
2.学生相談に関する体制は整備されているか	3.6	
3.定期的に健康診断を行うなど、学生への健康面への支援体制はあるか	4	
4.課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.6	
5.納付金の分割納入等が学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか	4	
6.保護者と適切に連携しているか	3.5	
7.同窓会が組織され、活発に活動しているか	2.8	

**【課題】**

同窓会の活動が会報発行のみになっているように感じられる。

**【今後の改善方策】**

今年度第一回ホームカミングデーを実施したが、継続的に開催し、全卒業生への周知に努める。

同窓会で若年層が活躍しやすい環境(メルマガ配信やライングループの利用等)を作る。

## 6.教育環境

評価項目	評価点	
1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.3	3.6
2.万一、災害が起きた場合に備えた保険などの措置はあるか	3.8	
3.防災に対する体制は整備されているか	3.8	

**【課題】**

校舎のメンテナンスの必要性。

閉架書庫の管理。

**【今後の改善方策】**

毎年少しずつ設備の改善をしていく。

司書業務専任のパートを置いて貴重書の管理など閉架書庫の整理を行う。

## 7.学生の受け入れ募集

評価項目	評価点	
1.高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.6	3.8
2.学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	
3.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の教育成果に関する情報は正確に伝えられているか	4	
4.学生納付金は、教育内容、学生及び保護者の負担などを勘案し、妥当なものとなっているか	4	

### 【課題】

高校生に対して学校の知名度が低い。  
年々、非課税世帯の給付奨学生が増加している。

### 【今後の改善方策】

一度来校すると受験する高校生が多いので、来校してもらえるよう、認知してもらえるように、在校生に口コミサイトへの書き込みを依頼する。

オープンキャンパスや説明会でLINE登録を促して、LINEでの発信を強化する。

家計状況が厳しい家庭に対して、成績や学習意欲のある学生を特待生として、本学独自の奨学金の設置を検討する。

## 8.財務

評価項目	評価点	
1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	—	—
2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	—	
3.財務について会計監査が適正に行われているか	—	
4.財務情報公開の形式は、整備はできているか	—	

### 【課題】

### 【今後の改善方策】

## 9.法令等の遵守

評価項目	評価点	
1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3.9
2.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8	
3.学校評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
4.教育情報を公開しているか	3.8	

### 【課題】

シラバスのHPでの公開の必要性。

### 【今後の課題】

今は、閲覧希望があれば見ることができているシラバスを、来年度からは、HP上で公開予定。

## 10.社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点	
1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3	3.3
2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3	
3.地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.3	

### 【課題】

公開講座の実施や学生ボランティアの復活

### 【今後の課題】

コロナ禍で止まっていた杉並区の地域区民センターまつりに、学校として学生のボランティア参加を既に問い合わせ中  
公開講座は、「ソフィア学びの泉シリーズ」として、1月から3回実施予定。今後も定期的に継続していく。